

トスベースボール試合規則

◇ 用具について

試合で使用するバット・ボール・トスマシーンは全日本トスベースボール協会公認定品とする。

◇ 裁定について

- ①トスマシーンのリモコン操作は球審が行います。
- ②トスベースボール試合規則および本大会規則に決められていない事項は公認野球規則に準ずる。

◇ 攻撃について

- ①打者はトスマシーンからのボールを3球以内にフェアボールを打たなければ、打者アウトとなります。
- ②打球がトスマシーンに触れた場合はファールボールとなります。
- ③バントおよび盗塁はできません。(アウトになります)
- ④走者の離塁はベースより2m以内とし、走塁は打者がボールを打った時点とします。
- ⑤ボールデッドと判定された後の進塁はできません

◇ 守備について

- ①送球がトスマシーンに当たった場合はインプレーとし、プレーは継続されます。
- ②ボールデッド後、ボールはトスマシーンに近い選手がトスマシーンに入れる。
※ボールデッドとは打者・送者・守備等すべてのプレーが終了した時点のことであり、単にボールが捕手に転送された時点ではありません。

◇ 攻守交代について

- ①10番打者が打撃を行い、すべてのプレーが終了した時点で、アウト数に関係なく、攻守を交代します。
- ②前インニングの残塁走者は次インニングに繰り越されません。

◇ 得点について

- ①10番打者が打撃を行い、すべてのプレーが終了した時点で、その回の得点が記録されます。

◇ ボールデッドの時機(試合中のプレーの停止)について

①塁に走者がいない場合

内野手又は外野手の打球処理は、打者走者をアウトにするか、進塁を防ぐ塁付近まで送球され野手がボールを確保したとき。

②塁に走者が一人以上いる場合

内野手又は外野手の打球処理は、走者及び打者走者の進塁を防ぐ塁付近まで(本塁を含む)送球され野手がボールを確保した時点でボールデッドとする。

③最終打者の場合

①・②と同様とするが、内野手又は外野手の返球は本塁上の捕手まで返球するのが望ましい。

④悪送球等によるボールデッド

送球(転送)されたボールが悪送球などによってボールデッドになった時、走者及び打者走者に打撃時点から2個の塁を与える。

⑤打球処理後にボールをトスマシーンに戻してもボールデッドにはなりません。